

洪水ハザードマップと地図デザイン Flood hazard map and map design

大西 宏治^{1*}
Koji Ohnishi^{1*}

¹ 富山大学
¹University of Toyama

災害時に人的被害を最小化させるソフト対策として、現在、ハザードマップの活用に注目が集まっている。洪水ハザードマップの地図デザインを検討し、現状の洪水ハザードマップにおける地図デザインの特長と欠点を整理した。その結果、次の点がわかった。1. 縮尺や凡例など適切な地図の体裁を整えない地図がみられる、2 不明瞭な基図表現が多い、3 マップのねらいに適した縮尺で表現されていない、4 洪水ハザードマップを平時の活用を想定していない、5 住民から十分な意見を吸い上げていない、6 データの性質を理解したになっていない視覚変数を用いていない。これらの欠点を改善したハザードマップが望まれる。

キーワード: ハザードマップ, 地図表現, 縮尺, 住民
Keywords: hazard map, map design, scale, resident